

平成 29 年度 石狩地区教育経営研究会

I 運 営

1. 目 的 教育経営の充実を期し、今日的教育諸課題について研究を深める。
2. 主 催 北海道小学校長会 北海道中学校長会 石狩管内小中学校長会
3. 日 時 平成 29 年 10 月 3 日 (火) 13:30～16:00
4. 会 場 石狩教育研修センター (北広島市共栄 315-5)
5. 日 程
 - (1) 開 会 式 13:30～13:50
 - ①主 催 者 挨 拶 石狩管内小中学校長会 会長 西木 祭
 - ②来 賓 挨 拶 北海道教育庁石狩教育局 局長 馬橋 功 様
石狩管内教育長会 会長 穂積 邦彦 様
 - ③講師団代表挨拶 北海道中学校長会 会長 古谷 雅幸 様
 - ④講 師 紹 介 石狩管内小中学校長会経営部 西野 典男
 - (2) 全国・全道情勢報告並びに質疑応答 13:50～14:30
北海道中学校長会 会長 古谷 雅幸 様
 - (3) 道小・道中からの回答 14:30～14:50
北海道小学校長会 幹事 設楽 正敏 様
北海道中学校長会 幹事 三浦 崇史 様
 - (4) 休 憩 14:50～15:00
 - (5) 道小・道中への質疑応答並びに要望 15:00～15:15
 - (6) 実 態 ・ 課 題 交 流 15:15～15:50
 - (7) 閉 会 式 15:50～16:00
 - ①主 催 者 挨 拶 石狩管内小中学校長会副会長 菅原 裕行
 - ②連 絡
6. 司 会 石狩管内小中学校長会経営部 前川 豊志
7. 記 録 石狩管内小中学校長会経営部 新田 元紀

II 研究協議

1. 全国・全道情勢報告

- ① 北海道小学校長会・中学校長会の活動紹介
- ② 全国学力学習状況調査…課題はあるが全国との差が縮まり、取組の成果が見られる。
- ③ 教員の長時間労働改善…働き方改革は先生方を負担軽減の視点で、人員増が必要である。
- ④ 小学校外国語活動への対応…各地で工夫した取組が方向付けされてきている。
- ⑤ ICT・遠隔システムでの研修実施…広域に配慮した配信で、へき地複式教育でも活用できる。
- ⑥ 学習指導要領改訂…総則を読み、「何ができる」「どうやって学ぶ」等の確認が必要である。

III 石狩地区の質問に対する道小・道中からの回答

【道小から】

1. 学校力向上…全道で指定校が 3 校増加。教職員も教員 111 名、事務職員 26 名の定数増。
2. 期限付き教員の未配置…全道各地で少なからずある。解消のために努力を続けていく。
3. 教育課程について
 - ① 小学校外国語活動の時間…石狩管内においては、石狩教育研究所で検討を進めている。
 - ② 生徒指導…いじめ防止基本方針の改訂素案が示されており、組織的対応が必要である。

4. 研究の充実について

- ① 英語指導の充実…英語教育推進リーダー研修や英語力向上を目指した研修を行ってきた。
- ② 教員の資質向上…道研では事業内容を記した冊子やデマンド配信を行っているので活用を。
- ③ 授業改善…道研において、ミニ道研の開催や映像資料の作成を行っている。

5. 免許更新制…現状では、法律との関係で柔軟性をもたせるのは難しい。

【道中から】

1. 免許外教科担任の解消…加配や非常勤講師配置を増やしている。教員定数改善と絡めていく。

2. 管理運営事項について

- ① 教職員人事評価制度…業務の効率化等要求してきた。具体的な成果は今後検討する。
- ② 時間外勤務縮減…実践資料集等を参考にしながら諸機関と連携し取り組んでいく。
- ③ 管理職希望者の減少…給与縮減措置については行財政改革を進める中で回復に努める。
- ④ 教員の地域行事参加の勤務態様…校長命令があれば勤務と考えて良い。

3. 福利厚生…教職員の健康増進は大切である。共済組合との連携に努めていく。

4. 教職員研修体系の見直し…研修意欲を高めるために7項目について意見を述べている。

5. 高校適正配置…多様な高校の在り方、適正な配置について要望していく。

【 質問 】

(石狩市) 研修用DVDが宣伝されていない。

(回答) 道教委、道研と連携をとって広めていく。

【 要望 】

(管内校長会)

- ・異動者の人事評価シートのやりとりは所属長同士ではなく、市町村教委等が関わっていく必要がある。
- ・PTA業務やCS等に関わって変動労働時間制の業務拡大を考慮していただきたい。
- ・未配置問題について、教員採用発表時に手だてをするとあったが、具体策を示してほしい。

IV 実態・課題交流

(江別市)

- ・小学校外国語活動について、30年度にALTを2名増員。32年度も増員を検討している。
- ・小中連携は1中学校区で検討している。江別型CSを4月からスタートした。

(千歳市)

- ・小学校外国語活動や道徳について、模擬授業や講演会等、様々な研修を進めている。
- ・CSは市街地、郡部に分け指定。小中連携についても交流会やプロジェクト会議を行っている。

(恵庭市)

- ・小中連携について、主幹教諭、教務主任を責任者にして連携教育推進委員会組織で進めている。
- ・CSは5年計画で導入していく。

(北広島市)

- ・30年度から全市で小中一貫教育を進める。中学校区で9年間を見通した教育課程を作成する。
- ・外国語活動、道徳については各担当者で進め、移行措置に向け、小学校で交流する。

(石狩市)

- ・CSに関わって、32年度に義務教育一貫校をスタートさせる。
- ・小学校外国語活動について検討委員会を組織し、実施の可能性を探っている。

(当別町)

- ・小中一貫教育は3年の準備期間を経て、今年度スタートした。4年以内に義務教育学校にする。
- ・9年間の教育課程、目指す子ども像や研究内容の小中統一などを行っている。

(新篠津村)

- ・CSについては8月に学校運営協議会を開催し、12月に2回目を予定している。
- ・小中連携に関わり、全国学テの結果や質問紙等の経年変化を交流し、実態把握を行っている。